

ふれあいファミリアミーティング（両向区）意見・提案一覧

No.	意見・要望要旨	担当課	回答
1	大木の伐採 半原3746番地前の町道石垣から出ている櫟の木が大きくなり過ぎて、枝が庭にかぶさり困っています。又石垣が崩れる心配もあります。私の家の方に出てきている枝だけでも切ってもらえないでしょうか。お願いいたします。（別紙1）	道路課	11月11日に現地確認を行い、町道を跨ぎ民家の庭まで枝木が伸びていたことが確認できたため、町道への枝木の落下防止を目的に、地権者に樹木の適切な維持管理を要請しました。（11月19日通知）
2	有害鳥獣駆除 自宅（半原2782）付近に猿やイノシシがよく見かけられるようになりいつか攻撃されるのではないかとヒヤヒヤしています。イノシシは、仕事終わりにランニングしている時に目の前に急に現れ体長約1.5mくらい、2回ほど見かけ1度は子連れで5匹ほどでした。 猿については玄関を出たすぐ目の前の公民館の屋根を電線へ渡り悠々と歩いており、10匹以上の群れをなしているほどでしたので、害獣駆除の対策を取っていただきたいです。宜しくお願い申し上げます。（別紙1）	農政課	有害鳥獣駆除の推進については、県猟友会会員で構成される「有害鳥獣対策実施隊」による銃器を用いた大型獣の駆除や、わなによる捕獲駆除を継続実施しているほか、人里地域等に現れるサルに対する花火を使った追い払いや、農業被害を防除する目的で簡易電気柵設置に対する補助金の交付、さらに小型獣については、本年度から箱わな購入費の一部補助を開始いたしましたほか、箱わなの貸し出しも行うなど、各種対策を講じているところですが、根絶は困難な状況となっています。 そのため、町では、鳥獣を人里に近づかせないようにすることも重要な対策の一つとして捉え、町ホームページをはじめ、わなの設置時や追い払い対応時、また、地域での学習機会を通じ、エサとなる放棄果樹の除去や、畑での収穫残さの撤去、藪の刈り込みなど、被害原因の解消に取り組んでいただくよう、地域の皆さんにご協力をお願いしているほか、必要に応じて追い払い用の花火を配布しているところです。 今後も、安心安全な地域づくりに向けて、継続して取り組んでまいりますので、鳥獣に関してお困りごとがありましたら、農政課までご相談くださいますようお願いいたします。

ふれあいファミリアミーティング（両向区）意見・提案一覧

No.	意見・要望要旨	担当課	回答
3	ソーラー観光広場 ソーラー観光広場は、町の災害時の緊急避難所に指定されている。また、近年は町の有害鳥獣対策協議会の集会所や研修場所に使われたり、両向区の「区民のつどい（ミニ運動会）」の会場となったり、地元住民有志によるハロウィンイベントの会場となるなど、住民による活用が徐々にすすんでいる。しかしながら、広場の名称を示す看板がないことから、地元住民の多くが正式な名称を知らない（緊急避難所は「ソーラー観光広場です」と言われても、どこの事が分からない）。また、緊急避難所である事を示す看板も既に設置されているが、広場の一番奥の目立たない場所である。 一方で、広場の利用について、問題ある利用方法についてたびたび町役場に苦情が入ったのか、令和5年度だけでも以下のような注意が掲示されていた。 (1)ボール飛び出しによる近隣民家のガラス破損があり、ボール遊びに対する掲示 (2)犬は必ずリードを付けて散歩するよう促す掲示 (3)テーブルの上に土足で登らない、ゴミは持ち帰る等の掲示 (4)電線・電柱の上を子どもたちが登って遊んでいた事に対する注意掲示 これらの注意喚起の掲示物は、A4用紙をラミネートしたものであったので、劣化と強風の影響で飛んで無くなってしまった（半年程度しか役に立っていなかった）。 また、広場を全面的に占有してのイベントも令和6年度に入ってから複数回あったが、事前の告知や当日の掲示等がなく、普段から広場を利用している近所の方やソーラーパーク来訪者が利用しづらい状況があった。 以上のことから、下記3点を要望します。 (1)広場の名称を示す看板を、町道側出入口に設置するべき（ソーラーパーク側の出入口は閉鎖されている時間帯が長く、避難所の出入口として不十分） (2)緊急避難所を示す看板を、町道側出入口にも設置するべき (3)利用者に対する注意掲示や、公園の管理者を示す掲示、公園を占有する時のルール等、必要な掲示について設置方法も含めて検討してほしい	1.商工観光課 2.危機管理室 3.商工観光課	(1)(2)11月14日にソーラーパーク観光広場の町道側出入口に広場の名称等を明記した指定緊急避難所の看板を設置いたしました。 (3)広場の適正利用を周知する看板については、内容も踏まえた中で耐久性の高い材質での作成を検討してまいります。
4	代行サービス、アプリケーション導入 給食費無償化。町内会費徴収・自治会運営に代行サービスやアプリケーションの導入を要望します。	教育総務課 住民協働課	町は、これまでも経済的支援が必要な児童生徒の保護者に対し、就学援助事業として学校給食費相当額の支給を行ってきたほか、全児童生徒を対象に給食費の値上げ分等の補填や食材費の高騰に対応するための公費負担を行うなど、保護者の経済的負担軽減に努めてきたところです。 学校給食費の無償化につきましては、すべての方が一律に恩恵が受けられるよう、各自治体の財政状況に委ねることなく、国が先頭に立って実施すべきものと考えており、様々な機会を通じて要望しているところですが、引き続き強く要望してまいります。（教育総務課） アプリなどを活用した「電子回覧板」や「自治会費の電子決済」などは、負担軽減策の一つとして導入している事例があることから、町では、区長会において、デジタル化の先進事例の紹介をする中で、行政区の意向などを把握してまいりたいと考えております。（住民協働課）
5	危険な高木枝葉の伐採をしてほしい 半原2624番地から2922番地の沢からの高木の枝葉が電線に掛かっている現状。 毎回防犯パトロールの際、現状を確認して両向区月例役員会で報告している状況。 過去には台風により倒木が発生し、民家屋根の破損及び道路をふさいだ事例があった。 年間計画を立てて定期的に再発事故が起きないように伐採をしていってほしい。（別紙1）	道路課	11月11日に現地を確認したところ、町道に越境しており、電線にもかかっている木枝が見受けられましたので、地権者に適正な維持管理を要請しました。（11月20日通知） 併せて、電線に木枝がかかっておりましたので、11月19日に電線の所有者である東京電力へ対応するよう要請しました。

ふれあいファミリアミーティング（両向区）意見・提案一覧

No.	意見・要望要旨	担当課	回答
6	トンネル内壁の改善 市之田第一トンネル及び第二トンネルの壁は2箇所共に殺風景な現状。 いたずら書きが出来ないように楽しい絵画を描いて明るくて親しみのある壁にしてほしい。（別紙1）	道路課	当該箇所については、交通量が少なくいたずら書きもされていないため、現時点では描画については考えておりませんので、ご提案として受け止めさせていただきます。
7	水源地跡地の利用について 水源地跡地に新たな保育園の建設、又は半原保育園の移転計画をしてほしい。	政策秘書課	現在、水源地跡地の利活用については、町の地方創生を推進するための「観光・産業連携拠点づくり事業」として、物産販売所や遊具などを整備する予定となっているため、当該地への新たな保育園の建設や半原保育園の移転は、難しいものと考えています。
8	道路面ライン引きの改善 国道・県道・町道ともに道路面のセンターラインや歩道の明示等各種ありますが、各種明示が消えているとの指摘がなくとも定期的に計画立ててライン引きを実施して事故の無いように取り組んでほしい。	住民協働課	町内パトロールにより区画線等の不明瞭な箇所の把握に努めており、白線のセンターラインや外側線、十・T字マークなどの区画線の補修につきましては、町内全体の優先度を考慮し補修を進めているほか、国道県道部分については、県へ補修要望をしているところです。 また、黄色のセンターラインや横断歩道、停止線などの規制標示につきましては、県公安委員会が管理していることから、補修が必要な箇所については定期的に要望しています。（住民協働課）
9	県道の除草 半原小入口から宮ヶ瀬方面へ向かう県道について、道路中央分離帯付近に生えている雑草を抜いてほしい。高く伸びた雑草が車の走行や人の横断の邪魔になる。	道路課	11月11日に現地を確認したところ、県道中央分離帯に草が繁茂していたため、11月19日に管理者の厚木土木事務所に新たな防草尾シートへの張り替えも含め、除草作業を要請しました。
10	県道沿いの除草シート貼り替え メガソーラー信号から宮ヶ瀬方面に向かう県道の右側の土手は、信号機から途中半分くらいまでは新たな防草シートが張られていてきれいだが、その先からは土手終わり迄は旧シートのままで雑草が生え、歩道の通行に支障をきたすので、新たな防草シートに取り換えるとともに定期的に除草してほしい。（別紙1）	道路課	11月11日に現地を確認したところ、土手からの雑草が歩道に張り出していたため、11月19日に管理者である厚木土木事務所に新たな防草シートへの張り替えも含め、除草作業を要請しました。
11	元横須賀水源地跡地の利用について ”スポーツの町 愛川”を謳っているのですから、パリオリンピックで盛り上がったスケートボードの練習場を田代の練習場とは別に、オリンピック選手に監修してもらい、本格的な練習場を希望します。愛川公園、服部牧場へ沢山の家族連れが来場する流れを水源地跡地まで利用することが大事となります。 初心者からオリンピックを目指すレベルまでが使用できる施設を希望します。 また、マウンテンバイクをする子供も増えています。マウンテンバイクコース、ゴーカートコースまでであると盛りだくさんで必ず家族連れが跡地まで足を運んでくれると思います。町の収益、働く場所の確保もできるとわれます。必ず専門家の観衆をお願いし、作るなら本格的なものをお願いします。	政策秘書課	観光・産業連携拠点づくり事業については、現行の基本計画を基に検討を進めているところであり、いただいたご提案につきましては、今後の参考とさせていただきます。
12	国道412号線、たからや前の信号機について たからや前と細野橋信号機は感知式にもかかわらず、感知の時間が明らかにたからや前の方が長い。 そのため、たからや前信号を避けて、狭い住宅街を徐行せず走行し危険である。 たからや前信号機は両向区児童の通学路であることから細野橋信号機と同党の感知時間になるよう、町長から厚木警察署へ情報提供をお願いします。（別紙1）	住民協働課	感知の時間については、交通量や利用頻度、付近の信号機とのバランスにより設定されているとのことですが、改めて厚木警察署へ当該信号機の感知時間を早めていただくよう要望いたします。

ふれあいファミリアミーティング（両向区） 別紙1

No.	参考資料等
1	
2	

5



6



10



12

